

## 猿払村交通安全協会とは

約 800 名の会員と協会の活動に賛同いただいている事業所で構成されています。各会員の方々からの年会費を主な財源として事業を展開し、各支部への交通安全資材の助成をはじめ、資材の購入、新入学園児への交通資材の配布など、交通安全推進のための事業を実施しています。

今年も例年どおり交通安全を願い、新入学児童に自転車用ヘルメットやランドセルカバーといった交通安全グッズを贈呈しました。

協会の趣旨をご理解いただき、交通安全運動の強化を図るため、新規会員を以下のとおり募集しています。ご興味のある方は、ぜひご検討ください。

### 会員資格

- ・自動車運転免許証所有者である
- ・協会の趣旨に賛同する有志である

### 年会費

1人 400 円

### 入会方法

会費をご持参のうえ直接事務局までお申し込みまたは、電話で連絡  
※後日会員証を発行

### 会員特典

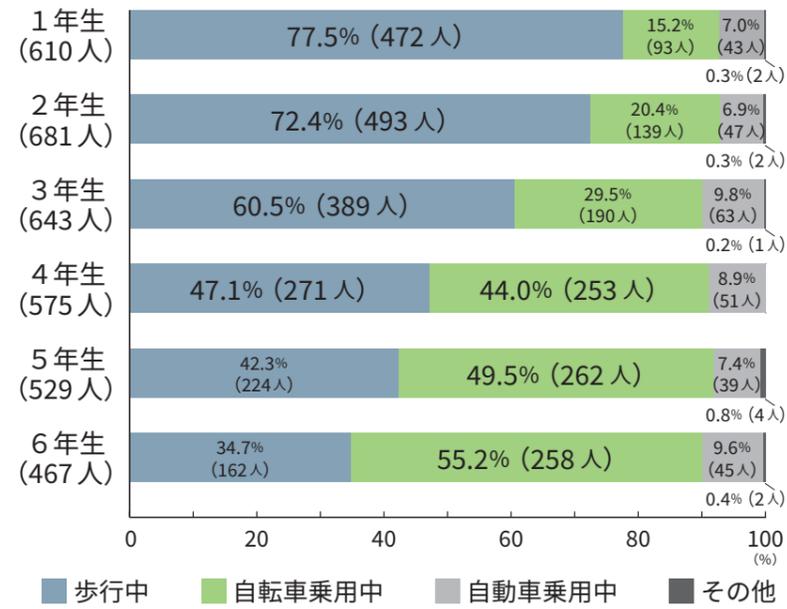
- ①運転免許更新時の写真代金割引  
※稚内警察署での写真撮影に限る
- ②優良運転者表彰が受けられる  
※会員からの申し出による

### ■猿払村交通安全協会事務局

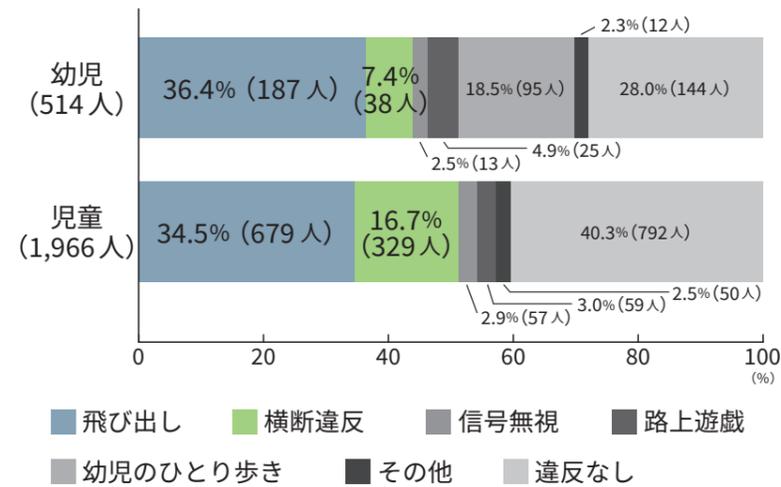
役場住民課生活環境係

☎2-3133

## ■小学生の状況別死者・重傷者数（R1~R5 合計）



## ■歩行中幼児・児童（第1・第2当事者）の法令違反別死者・重傷者数（R1~R5 合計）



警察庁「幼児・児童に関連する交通事故の状況」をもとに作成  
[https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/anzenundou/Roharunoundou\\_koutsuujikobunseki.pdf](https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/anzenundou/Roharunoundou_koutsuujikobunseki.pdf)

**子どもに関連する交通事故の状況**

警察庁が発表した「幼児・児童に関連する交通事故の状況」の「小学生の状況別死者・重傷者数」を確認すると、交通事故に遭う状況として、低学年は「歩行中」、高学年は「自転車乗車中」の割合が高くなっています。また、時間帯別に表示したデータでは、15時台といたった下校時の事故が多いことがわかりました。

「法令違反別」で見ると、幼児・児童ともに「飛び出し」による事故が最多となっています。



# 子どもたちを守るために 地域ができること

### 子どもへの安全指導を実施

猿払村交通安全運動推進連絡協議会では、村をはじめ交通安全協会、交通安全指導員会など関係機関・団体が官民一体となり、交通安全の推進に向けて、様々な啓発活動を行っています。

春の交通安全運動期間（4月6日から15日）中の、4月9日から12日の間には、交通安全街頭啓発が行われました。この取り組みは、交通量が増加する新年度の時期に、通学に慣れない新入学児をはじめとした子どもたちの交通事故を防止することを目的としており、子どもたちへの安全指導が行われました。

この時期は雪が解けて、歩行者や自動車の動きが活発になります。子どもたちが交通事故に遭うことのない安心・安全な猿払村を目指すため、気を付けるべき交通ルール等を今一度確認しましょう。

# 子どもの交通事故防止のために意識してほしいこと

警察庁「こどもの交通事故防止対策の要点」をもとに作成 <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/0-1.pdf>

## 地域の方へ

**Point1**  
子どものお手本になる

子どもの前で、信号無視や乱横断をするのはやめましょう。子どもは大人のまねをします。

**Point2**  
子どもに対する思いやりの気持ちを持つ

子どもが横断しようとしていたら、運転者は停止・減速を、運転者以外の方は、保護・誘導して、子どもの安全な横断を確保しましょう。

**Point3**  
子どもの急な飛び出しに備えて減速する

子どもの飛び出しによる事故が最も多くなっています。学校、保育所、通学路、住宅街の道路、見通しの悪い場所などは飛び出しに備えて減速しましょう。

## 保護者の方へ

**Point1**  
一人歩きをさせない

家の外では、幼児と手をつなぎ、常に目を離さないようにしましょう。また、駐車場など車道以外の場所も注意が必要です。

**Point2**  
チャイルドシートの適正使用

不使用・不適正使用の危険を理解し、正しく使用しましょう。また、使用する際は、子どもの体格に合ったもの（乳児用・幼児用・児童用）を選びましょう。

## 子どもに教えること

**Point1**  
横断の仕方

横断歩道や信号機が近くにあるときは、そこまで行って横断すること

・道路を横断する前には「立ち止まる」「左右をよく見る」「手を上げて横断することを車に伝える」「車が止まっていることを確認する」こと ※信号が青でも必ず確認

**Point2**  
教えるときの注意点

・繰り返し何度も教える  
・子どもの目線で危険な交差点等を一緒に確認する  
・車から子どもは見えにくいことを教える  
・幼児には、紙芝居、腹話術等の視聴覚に訴える

# 各小学校での取り組み「青空教室」



毎年4月下旬から5月上旬にかけて、村内の各小学校で「青空教室」が開催されます。この教室は、子どもたちが成長するにつれて外出や自転車の利用が増え、交通事故に遭う危険性が高まることから、正しい交通ルールを学び、交通事故やけがを防ぎ、安全に毎日過ごせるように行われます。

内容は学校や学年によって異なりますが、実際に自転車に乗って町中を運転したり、横断歩道のわたり方を確認したり、ダミー人形を使って車との衝突事故を再現するなど、安全に関することを勉強します。

授業の終わりには、小学6年生に交通安全指導委員委嘱状が贈られます。これは、学校のリーダーとしての自覚を持ち、下級生のお手本となるように交通ルールを守ること、また周りの友達や下級生がルールを守れていないときには、声を掛け合って交通安全意識を高めることを期待して贈られるものです。

### 命を守るヘルメットは必ず着用を！

自転車乗用中の死者の約半数が「頭部」の損傷が原因です。ヘルメットを着用していない人の頭部致命傷率は着用者の約2.4倍という結果があります。このことから、ヘルメットを着用すると致命傷にならない可能性が上がるといえるため、必ず着用することを心がけましょう。

## 交通事故の実態



住民課生活環境係 主事 高橋 真佐也

猿払村は交通事故死「0」3000日（令和9年1月31日達成予定）を目標に啓発に努めています。

北海道内の令和5年における交通事故件数は9082件であり、交通事故による死者131名となっておりますが、村内における交通事故件数は0件となっております。村民の皆さんの交通安全に対するご協力により、無事故の一年となりました。

全国的に起きている事故の原因は様々で、スピード違反や悪天候でのスピード出しすぎによるスリップ事故、居眠り運転や飲酒運転のほか、北海道ではシカの衝突などが事故の原因となっております。また、車や自転車での携帯電話等を使用している「ながら運転」による事故が増加しています。

今後においても、交通事故死「0」を目指し安全運転を心掛けます。